令和６年度 第３回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日時：令和６年１１月２２日（金）
午後６時３０分
場所：ＪＦＥリサイクルプラザ苫小牧
２階　会議室

次　　第

１　開　　会

２　会長挨拶

３　部長挨拶

４　議　　題

（１）報告事項

ア　米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

①「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転及び
令和６年度日米共同統合演習（実動演習）」に関する報告について　【資料　１】

イ　日独西共同訓練及び日独共同訓練の実施結果について　【資料　２】

ウ　航空機事故関連について

①　令和６年度（上半期）航空機部品等落下事案について　【資料　３】

エ　令和６年度要望活動結果について　【資料　４】

オ　新千歳空港における最近の動向について

①　令和６年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び
目的地外空港への着陸について　【資料　５】

（２）協議事項

ア　令和６・７年度再編関連訓練移転等交付金事業（案）について　【資料　６】

５　そ の 他

資料１

千歳基地への訓練移転及び令和6年度日米共同統合演習（実動演習）実施内容（結果）について

期　　間	令和6年10月21日（月）～令和6年11月1日（金）
訓 練 回 数	10月22日　9:25～11:35　日本海側　米軍F-16×8機、自衛隊F-15×8機 14:20～16:10　日本海側　米軍F-16×6機、自衛隊F-15×4機 23日　14:50～17:00　太平洋側　米軍F-16×6機 24日　8:20～10:45　太平洋側　米軍F-16×6機、自衛隊F-15×11機 12:00～16:30　太平洋側　米軍F-16×4機 14:20～16:30　太平洋側　米軍F-16×2機、自衛隊F-15×12機 25日　8:25～10:55　太平洋側　米軍F-16×7機、自衛隊F-15×12機 12:05～17:35　日本海側　米軍F-16×4機 14:10～16:20　太平洋側　米軍F-16×2機、自衛隊F-15×12機 28日　7:30～10:40　日本海側　米軍F-16×8機、自衛隊F-15×12機 12:10～13:35　日本海側　自衛隊F-15×5機 13:50～16:00　日本海側　米軍F-16×6機、自衛隊F-15×12機 29日　8:35～15:30　太平洋側　米軍F-16×7機、自衛隊F-15×12機 17:20～19:30　日本海側　米軍F-16×6機、自衛隊F-15×12機 30日　7:50～10:25　日本海側　米軍F-16×8機、自衛隊F-15×16機 17:10～19:15　日本海側　米軍F-16×6機、自衛隊F-15×12機 31日　7:40～10:35　日本海側　米軍F-16×7機、自衛隊F-15×16機 13:55～15:55　日本海側　米軍F-16×4機、自衛隊F-15×12機 11月1日　7:50～9:45　太平洋側　米軍F-16×3機、自衛隊F-15×12機 計　19　回　日本海側　11 回　太平洋側　8 回
参 加 部 隊	米　　軍：　第35戦闘航空団（三沢） 航空自衛隊：　第2航空団（千歳）
使 用 基 地	千歳基地
演 練 項 目	戦闘機戦闘訓練等
使用訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域
参 加 規 模	タイプⅡ訓練 米　　軍：　F-16×12機　人員約180名 航空自衛隊：　F-15×16機

米　軍　の 移動関係	10月18日 ： 米軍の輸送機(C-130×2機) 到着、離陸 21日 ： 米軍の戦闘機(F-16×12機) 飛来 ： 米軍の輸送機(C-130×2機) 到着、離陸 24日 ： 米軍の輸送機(C-130×2機) 到着、離陸 25日 ： 米軍の輸送機(C-130×2機) 到着、離陸 28日 ： 米軍の輸送機(C-130×2機) 到着、離陸 30日 ： 米軍の戦闘機(F-16×2機) 帰還 31日 ： 米軍の戦闘機(F-16×4機) 帰還 11月1日 ： 米軍の戦闘機(F-16×6機) 帰還 ： 米軍の輸送機(C-130×4機) 到着、離陸
米軍人の外出	外出あり
現地連絡本部	設　置:令和6年10月17日(木)　　閉　所:令和6年11月2日(土)

訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について

【苫小牧市】

苦　　情　　１件（騒音）

問い合わせ等　　０件

【千歳市】

苦　　情　　５件（騒音）

問い合わせ等　　１件（飛行方法）

【現地連絡本部】

苦　　情　　２件（騒音）

問い合わせ等　　０件

訓練移転に伴う騒音測定結果について

令和６年 10～11 月実施

資料

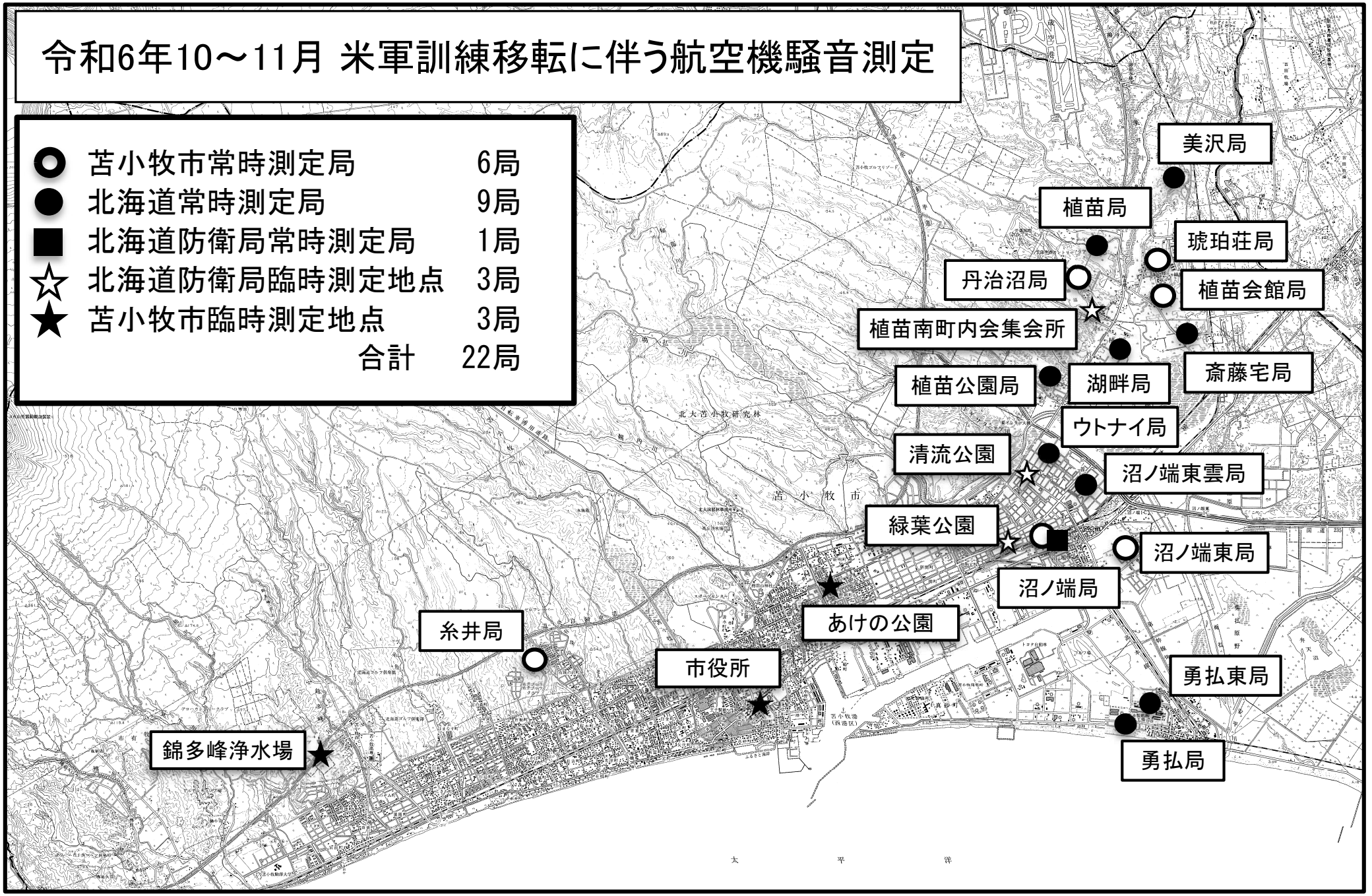
○　訓練移転に伴う騒音測定地点

○　米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果

○　苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden

○　評価

令和6年10～11月 米軍訓練移転に伴う航空機騒音測定



令和6年10～11月　米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果

単位：dB

【最高値】　　【参考値】

			F-16（米軍）				F-15（自衛隊）				令和5年度（年間）		これまでの訓練移転最高値
			苫小牧側離陸	苫小牧側着陸	千歳側離陸	千歳側着陸	苫小牧側離陸	苫小牧側着陸	千歳側離陸	千歳側着陸	最高値	平均値	
苫小牧市	臨時	あけの公園	73.1	－	－	－	79.3	72.4	－	－	－	－	79
		市役所	69.6	－	－	－	62.2	－	－	－	－	－	－
		錦多峰浄水場	68.2	－	－	－	68.7	55.9	－	－	－	－	83
	常時	植苗会館局	78.1	63.8	74.4	－	81.0	67.7	76.4	－	86	65	83
		丹治沼局	85.8	73.6	72.2	－	87.3	75.6	71.0	－	91	73	96
		琥珀荘局	79.1	65.6	79.2	－	78.6	72.3	78.1	－	88	66	85
		沼ノ端東局	84.2	76.4	－	－	83.6	78.7	－	－	88	69	90
		沼ノ端局	89.6	86.3	－	－	85.5	90.1	－	－	99	69	97
		糸井	71.8	－	－	－	67.7	75.1	－	－	88	70	77
北海道	常時	植苗局	85.3	76.7	71.2	－	87.0	78.4	75.8	－	95	73	94
		ウトナイ局	88.4	84.4	－	－	90.3	94.2	－	－	95	71	101
		美沢局	76.0	－	80.5	－	76.9	60.0	78.7	－	101	64	81
		湖畔局	86.0	76.4	－	－	88.9	86.0	63.3	－	90	72	94
		斉藤宅局	76.0	－	64.3	－	78.2	69.4	64.8	－	84	62	86
		植苗公園局	87.4	86.0	64.2	－	90.5	86.3	66.2	－	96	69	97
		勇払局	86.2	－	－	－	75.6	75.4	－	－	90	65	89
		沼ノ端東雲局	95.9	81.0	－	－	90.4	82.6	－	－	93	67	96
		勇払東局	82.4	75.8	－	－	76.3	72.8	－	－	88	65	87
防衛省	臨時	植苗南町内会	85.9	－	－	－	87.0	76.0	－	－	－	－	96
		清流公園	92.8	86.6	－	－	90.4	94.8	－	－	－	－	105
		緑葉公園	85.9	83.5	－	－	87.2	84.5	－	－	－	－	93
	常時	沼ノ端局	87.3	86.7	－	－	82.9	89.0	－	－	－	－	98

【備考】

① 上記表中の「－」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。

② 参考値の令和5年度（年間）の測定値には、自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。

苫小牧市内航空機騒音常時測定局　Lden

単位：dB

		訓練期間中 10月21日～11月1日の 日Lden	R5年度の 日Lden最大値
苫小牧市	植苗会館局	48 ～ 54	54
	丹治沼局	57 ～ 61	61
	琥珀荘局	50 ～ 55	56
	沼ノ端東局	50 ～ 58	59
	沼ノ端局	49 ～ 58	59
	糸井	0 ～ 44	48
北海道	植苗局	51 ～ 60	59
	ウトナイ局	50 ～ 61	59
	美沢局	41 ～ 50	57
	湖畔局	56 ～ 61	62
	斉藤宅局	38 ～ 49	48
	植苗公園局	53 ～ 58	59
	勇払局	42 ～ 53	54
	沼ノ端東雲局	53 ～ 60	60
	勇払東局	42 ～ 52	53

※ 訓練期間中のLden値は評価時間に達していないため、環境基準の評価は適用できません

評　価

○騒音測定結果について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局の測定において、95dB 以上の騒音が観測されたものの、令和 5 年度の最高値を下回っておりました。

※ 臨時測定点を含めた全局における最高値

・米 軍 機 F-16
沼ノ端東雲(道常時) ： 95.9 dB （11 月　1 日　午後帰還における離陸時）

・自衛隊機 F-15
清流公園(国臨時)　： 94.8 dB （10 月 31 日　午前訓練着陸時）

○Lden について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局における日 Lden 値については、令和 5 年度の日最大値と比較して同程度でした。

今回の訓練移転における騒音については、測定値及び日 Lden 値から、第 2 航空団が行っている通常訓練の範囲内でした。

報告事項ア 追加資料

（お知らせ）

令和６年１１月１５日
防　　衛　　省

米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転について

米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転（日米共同訓練）を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

三沢基地での訓練移転は、今回で１１回目となります。

国内への訓練移転は、平成１８年５月の「再編の実施のための日米ロードマップ」に基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場における訓練活動の影響の軽減のために行われるものです。

１．訓練期間：令和６年１２月２日（月）～１２月１３日（金）
※　訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定

２．使用基地：航空自衛隊三沢基地

３．使用空域：三沢東方空域及び北海道西方空域

４．訓練内容：戦闘機戦闘訓練等

５．参加部隊：（米　軍）第１２海兵航空群（岩国）
（自衛隊）第３航空団（三沢）

６．参加規模：タイプⅡ
（米　軍）ＦＡ－１８×１０機程度、人員２２０名程度
（自衛隊）Ｆ－３５Ａ×８機程度

※　本内容については、今後、変更される場合があります。

資料２

日独西共同訓練及び日独共同訓練の実施結果について

１　訓練期間

（１）日独西共同訓練：令和６年７月 19 日（金）～ 20 日（土）
（２）日独共同訓練：　令和６年７月 22 日（月）～ 25 日（木）

２　参加規模

（１）日独西共同訓練
【自衛隊】第２航空団（千歳）Ｆ－１５×4 機
【独空軍】ユーロファイター戦闘機×8 機、A400M 輸送機×3 機、C-130 輸送機×1 機、
A330MRTT 空中給油機×4 機、A321 輸送機×１機　人員約 180 名
【西空軍】ユーロファイター戦闘機×4 機、A400M 輸送機×2 機　人員約 150 名
（２）日独共同訓練
【自衛隊】第２航空団（千歳）Ｆ-１５×４機
【独空軍】ユーロファイター戦闘機×３機、A400M 輸送機×２機、
A321 輸送機×１機、C-130 輸送機×1 機、
KC-135 空中給油機×1 機、人員約 80 名

３　訓練回数

（１）日独西共同訓練　７月 19 日（金）　１回
（２）日独共同訓練　　７月 22 日（月）　２回
７月 23 日（火）　２回
７月 24 日（水）　１回
７月 25 日（木）　１回

４　騒音測定結果

【自衛隊】Ｆ－１５　　最高値 87.0dB
【独空軍】ユーロファイター　最高値 87.9dB
【西空軍】ユーロファイター　最高値 85.9dB

５　市民からの問合せ

１件（飛行経路）

６　独及び西軍人の行動

宿泊：千歳市、長沼町　※苦情・トラブル等なし

７　市の対応

〇部長会議において情報共有、確認
〇訓練計画概要の通知
・市議会議員、航空機騒音対策協議会委員、航路下町内会役員、警察署等の関係機関
・市ホームページ及び市役所だよりに掲載
〇航路下３地域に周知チラシ全戸配布
〇北海道防衛局及び航空自衛隊千歳基地に対する申入れ
〇市ホームページに訓練情報を掲載（飛行情報の随時更新、騒音測定速報値翌日更新）

８　結果

千歳基地において、日本、ドイツ、スペインとの初の共同訓練であったが、事件・事故もなく無事に終了した。

資料３

令和６年１０月２２日
航空自衛隊千歳基地

令和６年度（上半期）航空機部品等落下について

令和６年４月１日から令和６年９月３０日までの間、航空自衛隊千歳基地において発生した航空機の部品等落下について、下記のとおりお知らせします。

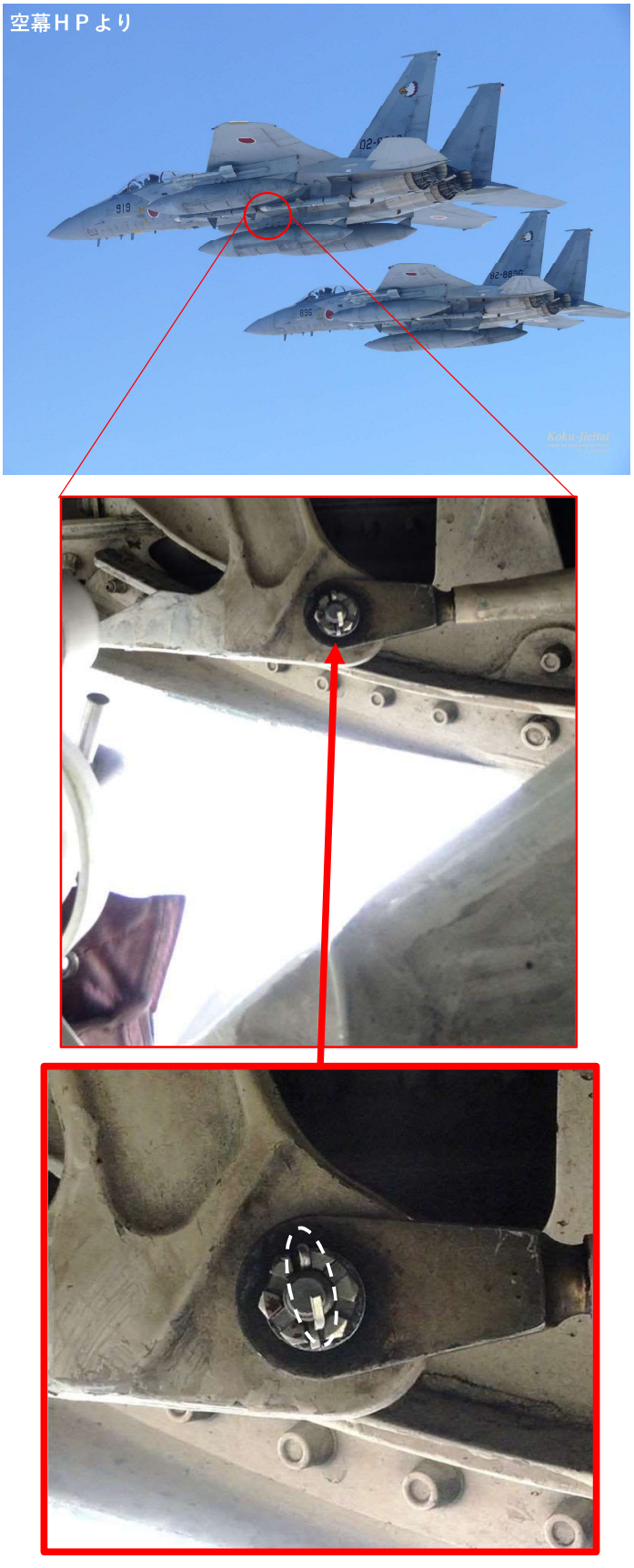
記

番号	発生等日時	発生場所	機種	落下部品等		
				品名等	大きさ	重さ
1	令和6年 4月16日(火) 11:20～12:37頃	千歳飛行場 ～日本海上 ～千歳飛行場	F-15J	アンテナレドーム(一部)	縦:約92mm 横:約27mm 厚さ：約1mm	約6g
2	令和6年 6月17日(月) 09:05～11:20頃	小松飛行場 ～太平洋上 ～千歳飛行場	F-15DJ	コッターピン	長さ:約25mm 直径:約2mm 厚さ：約2mm	1g未満
3	令和6年 6月18日(火) 10:32～11:56頃	千歳飛行場 ～日本海上 ～千歳飛行場	F-15J	アンテナレドーム(一部)	長さ:約25mm 幅:約25mm	約1g
4	令和6年 8月6日(火) 12:50～13:45頃	千歳飛行場 ～日本海上 ～千歳飛行場	F-15J	リベット	長さ:約25mm 直径:約7mm	約2g
5	令和6年 9月2日(月) 14:34～15:54頃	千歳飛行場 ～日本海上 ～千歳飛行場	F-15J	アップストップダンパー	縦:約38mm 横:約50mm 厚さ：約19mm	約39g

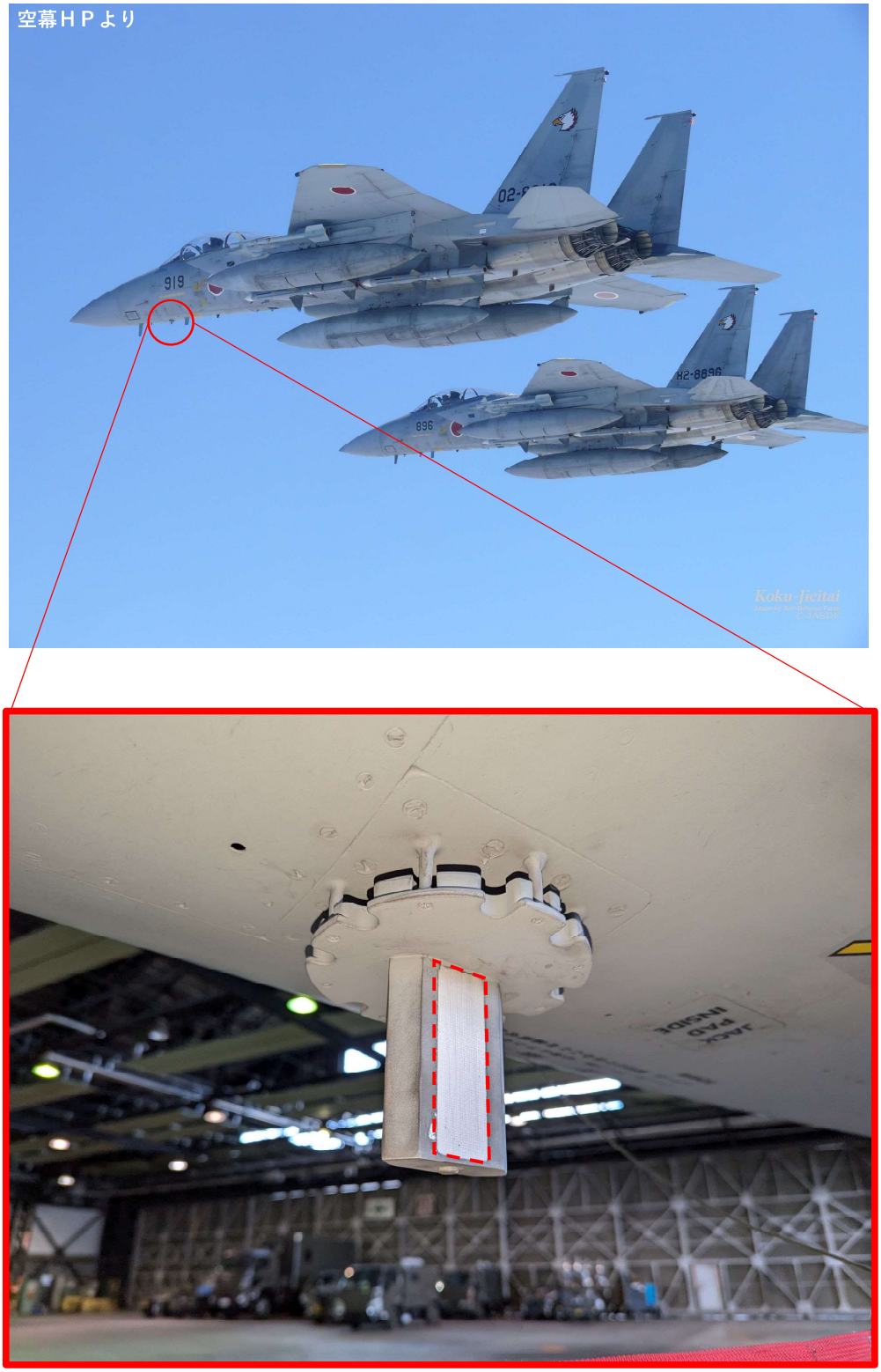
(問い合わせ先)
航空自衛隊千歳基地
第２航空団司令部監理部基地対策室
担当：津曲、下間
電話：０１２３－２３－３１０１
（内線：２２１４）

Ｆ－１５Ｊ（アンテナレドーム）

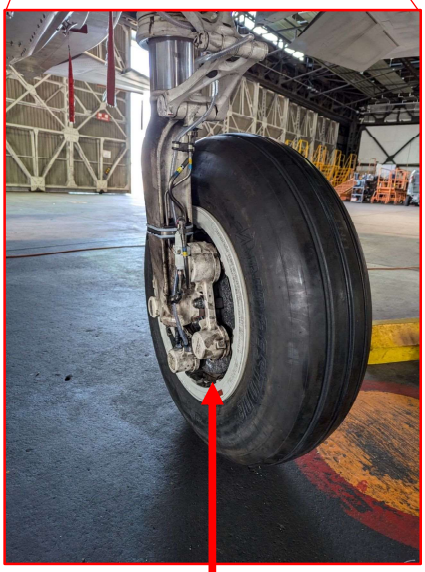
Ｆ－１５ＤＪ（コッターピン）



Ｆ－１５Ｊ（アンテナレドーム）



Ｆ－１５Ｊ（リベット）



Ｆ－１５ＤＪ（アップストップダンパー）

資料４

令 和 ６ 年 度
苫小牧市航空機騒音対策協議会
要　望　活　動　報　告　書

令和６年９月１９日

札幌・千歳

令和６年１０月３日～４日

東京

TOMAKOMAI HOKKAIDO

１　日　　程　　令和６年９月１９日（木）　　札幌・千歳
令和６年１０月３日（木）～４日（金）　　東京
詳細は別紙１のとおり（Ｐ２）

２　要望活動者　　苫小牧市航空機騒音対策協議会

副 会 長	松重　茂雄	（札幌・千歳、東京）
副 会 長	三海　幸彦	（札幌・千歳、東京）
委　　員	丹治　有貴	（札幌・千歳、東京）
委　　員	千葉　英明	（札幌・千歳、東京）
委　　員	竹田　秀泰	（札幌・千歳、東京）
委　　員	米谷　一夫	（札幌・千歳）
事務局長	町田　雅人	（札幌・千歳、東京）
事務局員	神保　英士	（札幌・千歳）
事務局員	櫻井　理博	（札幌・千歳）
事務局員	伊藤　貴文	（札幌・千歳、東京）
事務局員	佐藤　隼也	（札幌・千歳、東京）
事務局員	田村　一也	（札幌・千歳、東京）

３　要望活動

（１）要望先及び要望書宛先　　別紙２のとおり

（２）要望先対応者　　別紙３のとおり

（３）要望書　　別紙４のとおり

（４）回答要旨　　別紙５～７のとおり

４　要望活動の主な質問に対する回答要旨

別紙８のとおり

別紙　1

令和６年度　苫小牧市航空機騒音対策協議会　要望活動日程

９月１９日（木） （札幌・千歳）	１０：００	北海道防衛局
	１３：００	航空自衛隊 千歳基地
	１４：００	国土交通省 東京航空局 新千歳空港事務所 及び北海道エアポート(株)
１０月３日（木） （東　京）	１３：３０	国土交通省 航空局 大田　圭　大臣官房参事官（航空戦略）
	１４：００	国土交通省 航空局 蔵持　京治　次長
	１５：００	国土交通省 東京航空局
１０月４日（金） （東　京）	９：００	山岡　達丸　衆議院議員
	１０：１５	防衛省 航空幕僚監部 田崎　剛広　総務部長
	１０：４５	防衛省 防衛政策局 平尾　和久　運用調整参事官付 訓練企画室長 防衛省 地方協力局 山下　敏彦　地域総括課 防音対策調整官

別紙 2

令和6年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動

1 日　　程　　令和６年９月１９日（木）　　札幌・千歳
令和６年１０月３日（木）～４日（金）　【２日間】　　東京

2 要望活動者　　札幌・千歳　　委員６名、事務局６名
東京　　委員５名、事務局５名（東京事務所長を含む）

3 要望先及び要望書宛先名

■国会議員（内閣府及び議員会館：千代田区永田町）

衆議院議員	山　岡　達　丸　（国交省･防衛省分）
参議院議員	橋　本　聖　子　（国交省･防衛省分）

■国土交通省

国土交通大臣	斉　藤　鉄　夫
国土交通副大臣	國　場　幸之助
国土交通副大臣	堂　故　　茂
国土交通大臣政務官	こやり　隆　史
国土交通大臣政務官	石　橋　林太郎
国土交通大臣政務官	尾　﨑　正　直

◎航空局（千代田区霞が関２－１－３）

局　　長	平　岡　成　哲
次　　長	蔵　持　京　治
航空ネットワーク部長	秋　田　未　樹
大臣官房参事官（航空戦略）	大　田　　圭

◎東京航空局（千代田区九段南１－１－１５）

局　　長	今　井　和　哉
次　　長	佐々木　勇　幸
総務部長	宮　腰　光　彦
空港部長	鈴　木　賢　治
保安部長	植　木　隆　央
安全管理官	黒　川　俊　之
総務部次長	長　堀　武　直
空港部次長	吉　野　康　之
総務部総務課長	武　田　宏　之
総務部地域航空事業課長	大　栁　　剛
空港部管理課長	上　野　健　一
空港部地域振興・環境調整官	高　橋　英　司
空港部空港企画調整課長	齋　藤　秀　樹
空港部土木課長	青　木　　工
空港部建築課長	豊　田　秀　和
保安部技術保安企画調整課長	町　田　雅　史
保安部管制課長	里　木　隆　博
保安部管制技術課長	向　　政　弘

◎東京航空局　新千歳空港事務所（千歳市美々）

空 港 長	小　谷　浩　一

■防衛省		騒音対策	防音
防衛大臣	中　谷　　元	○	○
防衛副大臣	鬼　木　　誠	○	○
防衛大臣政務官	三　宅　伸　吾	○	○
防衛大臣政務官	松　本　　尚	○	○
◎防衛政策局（新宿区市谷本村町５－１）			
防衛政策局長	大　和　太　郎	○	
防衛政策課長	松　尾　友　彦	○	
日米防衛協力課長	芦　塚　　修	○	
運用政策課長	菊　池　哲　史	○	
運用調整参事官	森　田　健　司	○	
運用調整参事官付　訓練企画室長	平　尾　和　久	○	
◎地方協力局（新宿区市谷本村町５－１）			
地方協力局長	田　中　利　則	○	○
地方協力局次長	森　田　治　男	○	○
総務課長	村　井　　勝	○	○
地域社会協力総括課長	掛　水　雅　敏	○	○
東日本協力課長	深　和　岳　人	○	○
地域総括課　防音対策調整官	山　下　敏　彦	○	○
◎航空幕僚監部（新宿区市谷本村町５－１）			
航空幕僚長	内　倉　浩　昭	○	
総務部長	田　崎　剛　広	○	
◎航空自衛隊千歳基地（千歳市平和）			
千歳基地司令	田　中　信　隆	○	
◎北海道防衛局（札幌市中央区大通西１２）			
局　　長	福　島　邦　彦	○	○
次　　長	本　多　浩　三	○	○
企画部長	尾　﨑　嘉　昭	○	○
企画部次長	佐　藤　智　浩	○	○
企画部地方調整課長	杉　本　真由美	○	○
企画部防音対策課長	千　葉　伸　之	○	○
企画部地方調整課　環境対策室長	山　岡　孝　次	○	○
企画部地方調整課　基地対策室長	横　田　　直	○	○
管理部業務課長	三　芳　泰　寛	○	○

■北海道エアポート株式会社	
代表取締役　社長	蒲　生　　猛
新千歳空港事業所　事業所長	袴　田　慶　一

別紙 3

令和６年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望先対応者

地元選出国会議員

自由民主党	参議院議員	橋本　聖子
立憲民主党	衆議院議員	山岡　達丸

国 土 交 通 省

航空局		次長（表敬訪問）	蔵持　京治
	大臣官房参事官	（航空戦略担当）	大田　圭
	航空戦略室	地域振興・環境調整官	廣田　奮
	〃	専門官	神子島　裕一
	〃	主査	田島　成一郎
	航空ネットワーク部　空港計画課	空港インフラ連携調整官	中村　大樹
	〃　〃	課長補佐	芦田　憲章
	〃　空港技術課	課長補佐	畔上　大輔
	〃　〃	専門官	仲本　政貴
	〃　航空ネットワーク企画課	空港機能高度化推進官	丸山　和広
	〃　〃	専門官	森泉　玲音
	航空安全推進室	課長補佐	浦野　雄介
	安全企画室	専門官	竹内　敏博
東京航空局	空港部	部長	鈴木　賢治
	〃　環境・地域振興室	地域振興・環境調整官	高橋　英司
	〃　空港企画調整課	課長	齋藤　秀樹
	〃　空港経営改革調整室	空港経営改革推進官	梅澤　紀昭
	〃　空港管理課	課長	上野　健一
	〃　土木課	課長	青木　工
	〃　建築課	課長補佐	佐久間　亨
	保安部　運航課	課長	佐藤　雅朗
	〃　技術保安企画調整課	調査官	不破　正史
	総務部　総務課	課長補佐	原　純
	脱炭素化推進室	室長	太田　信博
東京航空局	新千歳空港事務所	空港長	小谷　浩一
	〃	次長	高橋　勉
	〃	総務部長	長島　功佳
	〃	管制保安部長	白﨑　裕康
	〃	運航効率化推進官	木下　幸育
	〃	運用調整課長	須藤　渉
	〃	総務課長	佐藤　響
	〃	総務課主査	藤井　祐斗

防　　衛　　省

航空幕僚監部	総務部	部長（表敬訪問）	田崎　剛広
	〃	基地対策室長（表敬訪問）	山本　仁
防衛政策局	運用調整参事官付	訓練企画室長	平尾　和久
地方協力局	地域総括課	防音対策調整官	山下　敏彦
北海道防衛局		次長（表敬訪問）	本多　浩三
	企画部	部長	尾﨑　嘉昭
	〃	次長	中山　尚
	〃　地方調整課	課長	杉本　真由美
	〃　地方調整課　環境対策室	室長	山岡　孝次
	〃　防音対策課	課長	千葉　伸之
航空自衛隊千歳基地	第２航空団		
司令部	監理部	部長	田中　武
	〃	基地対策室長兼広報室長	津曲　栄治
	〃	基地対策室基地対策専門官	下間　康貴

北海道エアポート(株)

新千歳空港事業所		事業所長	袴田　慶一
〃	地域共生部	部長	平池　暁
〃	〃　地域共生課	課長	三村　行雄
〃	管理部	地域共生担当	徳中　利安
〃	〃	〃　次長	佐藤　泰
〃	空港運用部　業務管理課	主任	平田　真也

別紙　４

国 土 交 通 省

要　望　書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和６年９月１９日

苫小牧市長　　岩　倉　博　文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会　　長　　丹　羽　秀　則

理　由　書

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、国内線におきましては、昨年度の旅客数が2,000万人を突破するなど、コロナ禍で落ち込んでいた航空需要も順調に回復しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加等により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

１　着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

２　運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

３　低騒音機種への切替えを促進すること及び外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

４　航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

５　美沢川及び美々川等への環境対策に万全を期すこと

６　北海道エアポート（株）の安定的な運営を支援し、新千歳空港における安全対策等の維持・強化を図ること

北海道エアポート（株）

要　望　書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月１９日

苫小牧市長　　岩　倉　博　文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会　　長　　丹　羽　秀　則

理　由　書

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、国内線におきましては、昨年度の旅客数が 2,000 万人を突破するなど、コロナ禍で落ち込んでいた航空需要も順調に回復しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加等により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

貴社におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

１　着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

　また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

２　運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

　特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

３　低騒音機種への切替えを促進すること及び外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

４　航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

　また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

５　美沢川及び美々川等への環境対策に万全を期すこと

防　　衛　　省

要　望　書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」／「防音対策事業」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和６年９月１９日

苫小牧市長　　岩　倉　博　文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会　　長　　丹　羽　秀　則

理　由　書

千歳飛行場につきましては、航空自衛隊による通常訓練や政府専用機の訓練に加え、米軍再編に伴う訓練移転や他国との共同訓練などにより航空機騒音が増え、また、自衛隊機による部品落下事故も繰り返し発生しております。

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっておりますが、飛行場周辺住民は、航空機騒音に悩まされるとともに、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

１　市街地上空での低空飛行を避けること

２　通常訓練の離着陸コースを遵守すること

３　運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

４　訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること

５　自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

理　由　書

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあって、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

１　住宅防音助成については、対象区域を７０Ｗまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること

別紙 5

要望事項に関する回答要旨（国土交通省及び北海道エアポート㈱）

要望事項	国土交通省 （航空局・東京航空局・新千歳空港事務所）	北海道エアポート（株）
1　着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること 　また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること	・着陸時における飛行高度の引き上げや、離陸時における住宅地域を避けた飛行経路の設定等、現時点で可能な対策を最大限講じている。 ・一方、航空交通の安全確保の観点から、やむを得ず市街地上空を飛行することも考えられるため、ご理解いただきたい。 ・引き続き、空港運営会社や管制機関と連携して、航空会社に対する指導や監督を適切に実施してまいりたい。	
2　運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること 　特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと	・航空会社においては、遅延便対策として、ダイヤパターンや機材繰りの変更等に順次取組んでいる。 ・国土交通省として、航空会社に対し、遅延便の減少に向けた取組を継続して要請してまいりたい。	
3　低騒音機種への切替えを促進すること及び外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと	・航空機の低騒音化については、発生源対策が最も重要な手段と認識しており、これまでも積極的に取り組んでいる。 ・環境に配慮した新型低騒音機材をはじめとした機材投資を促進するため、航空会社の新規機材導入に係る税の減免措置による支援を行っている。 ・今後、外国貨物機の運航が計画された場合には、騒音に配慮した運航となるよう航空会社と連携し、指導及び監督等を適切に実施してまいりたい。	・着陸料騒音課金の継続運用により、引き続き、低騒音機種への切替促進を行ってまいりたい。
4　航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること 　また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること	・安全運航の確保については、航空業界の最重要課題と認識している。 ・国土交通省においては、安全な運航、整備の確保に万全を期すため、安全監査を通じて、整備点検等の実施状況を確認している。 ・航空法に基づき報告された安全上のトラブルについては、要因分析を行い、再発防止策及び予防安全対策に取組んでいる。 ・今後とも、安全運航の確保に万全を期して、航空会社等に対する指導監督を適切に実施し、安全・安心に対する信頼を得られるよう努めてまいりたい。	

要望事項	国土交通省 （航空局・東京航空局・新千歳空港事務所）	北海道エアポート(株)
5　美沢川及び美々川等への環境対策に万全を期すこと		・新千歳空港においては、昨シーズンより有色ＡＤＦを使用しており、引き続き、効率的な使用に努めるよう、冬期の安全運航を含め、航空会社に要請を行う。 ・排水管理については、使用後の水質調査のモニタリングを実施し、周辺環境保全に最大限配慮して、万全な管理徹底に努めてまいりたい。
6　北海道エアポート(株)の安定的な運営を支援し、新千歳空港における安全対策等の維持・強化を図ること	・コロナ禍の長期化、甚大化による航空需要の大幅な減少により、北海道エアポート(株)は大変厳しい状況に直面していたと承知している。 ・国土交通省としては、運営権対価分割金の支払いを猶予すること、運営権対価の追加支払いを求めることなく空港運営事業期間を3年間延長すること、空港施設の整備に対する無利子貸し付けを実施することなど、踏み込んだ支援を行ってきたが、これらにより、必要な運転資金に関しては、現時点で問題ないという認識が示されている。 ・北海道エアポート(株)が新千歳空港における安全対策等の維持、強化を継続できるよう、引き続き、実情をよく伺い、安定的な運営が可能となるよう対応してまいりたい。	

別紙 6

要望事項に関する回答要旨（防衛省）騒音軽減・安全対策

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊千歳基地 第２航空団	航空幕僚監部	防衛政策局
1　市街地上空での低空飛行を避けること	・騒音等による飛行場周辺の影響を最小限にするため、深夜早朝や土日祝日の飛行は、可能な限り回避するよう配慮しているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行する場合があることをご理解いただきたい。 ・安全管理等に関しては、訓練に参加する戦闘機等について、平素より定期整備、飛行前後の点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保しているところ。 ・要望内容については、本省及び千歳基地の所在部隊にしっかり伝えるとともに、事故等に係る情報は、自衛隊と連携し苫小牧市を含む関係自治体等に、速やかに情報提供できるよう努めてまいりたい。	・飛行訓練については、航空法をはじめとする各種の関連法規を遵守し、実施しているところであり、他基地から飛行訓練等で来たパイロットに対しても、同様に教育指導を実施している。 ・今後も安全飛行を念頭に置きつつ、市街地上空の低空飛行を避けるよう努めてまいりたい。		・安全及び着陸時の進入角度に係る航空法等の規定を順守しており、市街地上空等を極力避けた飛行を行っているところだが、改めて徹底してまいりたい。
2　通常訓練の離着陸コースを遵守すること	・同上	・天候の状況等、特に雷は航空機に対し非常に危険な状態を及ぼすことから、天候の変化等があった際は安全確保のため、雲を避ける飛行をする場合があることもご理解いただきたい。 ・可能な限り、市街地上空の飛行を避けるよう努めてまいりたい。		・運用規則等に定められたコースを基準として離着陸を行っているが、気象状態や航空交通の流れにより、飛行安全確保の観点から管制より出された指示に基づき、定められたコース以外を飛行することもあるためご理解いただきたい。
3　運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること	・同上	・深夜早朝の飛行訓練を原則実施しないこととしているが、緊急発進や災害派遣等の任務、上級部隊が計画する演習等により、やむを得ず飛行する場合があることをご理解いただきたい。	・飛行時間、飛行経路等を色々工夫しながら、生活環境にも配慮して任務・訓練に邁進してまいりたい。	・通常の飛行訓練では、深夜早朝の飛行を可能な限り回避する努力をしているが、各種任務を実施するために飛行する場合もあることをご理解いただきたい。

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊千歳基地 第２航空団	航空幕僚監部	防衛政策局
４　訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること	・同上	・通常の飛行訓練は計画していないが、上級部隊が計画する演習、航空祭及び他基地での展示飛行等に参加するため飛行する場合があるので、ご理解いただきたい。		・通常の飛行訓練では極力避けているが、一定期間連続して行う訓練・演習等で日程上避けられない場合があるので、ご理解いただきたい。
５　自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること 　また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること	・同上	・平素より、定期的な整備、飛行前後の点検を適切に実施するとともに、隊員教育を実施して事故防止に努めているが、これまで同様、引き続き安全確保に留意してまいりたい。 ・万が一、事故等が発生した場合には、苫小牧市を含む関係自治体等への速やかな情報提供に努めてまいりたい。		・事故により基地周辺住民に不安を与えることはあってはならないと考えており、引き続き、航空機の点検整備及び隊員の安全協力について万全を期してまいりたい。 ・万が一、事故が発生した場合には、地元自治体等への情報提供を速やかに行っていきたい。
※沖縄の負担軽減について	・日米両国は、訓練移転の期間中、沖縄の飛行場における米軍の訓練活動の影響について配慮することとしているが、防衛省としても引き続き、米側には配慮要請を行っていきたい。 ・嘉手納飛行場に所属する航空機の訓練移転については、訓練の一部が本土等に移転されたことで、沖縄で本来されるべき訓練が削減されたことから、一定程度の負担が軽減されたと考えている。 ・騒音の実態把握にも努めており、実態を踏まえて米軍に対する申入れや、住宅防音工事の助成などの各種政策を通じて、周辺住民の負担を可能な限り軽減できるよう努めてまいりたい。 ・今後とも米軍に対し、嘉手納飛行場における騒音の軽減がより一層図られるよう協力を求めるとともに、着実に訓練移転を積み重ねる努力をしてまいりたい。			

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊千歳基地 第２航空団	航空幕僚監部	防衛政策局
※再編関連訓練移転等交付金について	・航空機騒音等により、周辺住民の著しい影響に配慮するということを踏まえ、平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年間の時限措置という形で創設したものであることをご理解いただきたい。 ・いずれにしても、令和 7 年度も所要額の確保に努めてまいりたい。			

別紙 7

要望事項に関する回答要旨 （防衛省） 防音対策

要望事項	北海道防衛局	地方協力局
1　住宅防音助成については、対象区域を 70W まで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること	・住宅防音工事については、環境基本法に定められた航空機騒音に係る環境基準についての趣旨を踏まえ、環境基準が達成された場合と同等の国内環境が保持されるようにするという観点から、飛行場周辺の 75W 以上の区域において、屋内で 60W 以下が確保できるよう助成措置を行っている。 ・飛行場においては、自動騒音測定装置を設置し測定しているものの、これまでのところ、区域を拡大するような状況ではないことをご理解いただきたい。 ・全室を対象とすることについて、これまでも外郭防音工事については、地元の要望を踏まえ、国内環境の保全をより一層確保するため、現在、特に騒音の著しい 85W 以上の区域において、居人数に関わらず住宅の家屋全体を対象としている。 ・外郭防音工事の対象範囲の拡大については、区域見直しなどの第１種区域内に所在する住宅について、新たに対応したいと考えている。 ・告示後に建築された住宅の防音工事についても同様に、第 1 種区域の見直しということで、指定再告示方式により、新たな区域内の告示日時点までに建設された住宅を対象にするという考えで対応していることをご理解いただきたい。	・対象区域の拡大については、環境基本法に基づき定められた航空機騒音に係る騒音基準について、定められた趣旨を踏まえ、環境基準が達成された場合と同等の室内環境が保持されるよう、飛行場周辺で 75W 以上の区域に、屋内で 60W 以下となるよう防音工事助成の措置を行っている。 ・全室を対象とすることについて、外郭防音工事は地元の要望を踏まえ、特に騒音の著しい 85W 以上の区域では、居住人数に関わらず住宅の家屋全体を防音工事の対象としている。 ・告示後に建てられた住宅に対する防音工事については、地元から強い要望があるものと承知している。 ・今後、住宅防音区域を見直しする際には、新たな区域が指定された時点までに建設された住宅については、全て防音工事の対象とし、その場合、一戸全室を対象とした外郭防音工事によって行う考えとしている。

別紙　８

令和6年度要望活動結果について

（要望活動時の主な質問に対する回答要旨）

≪新千歳空港事務所及び北海道エアポート(株)≫

●　閉鎖誘導路への誤進入について

Q　先日、新千歳空港において、飛行機が閉鎖している誘導路に誤進入する事案があったが、原因と今後の防止策はどうなっているのか。

A　従来の対策として、侵入禁止を示すライトを点灯するなど、対応していたところ。また、その誘導路は使用されていないことを事前に連絡をしていたが、パイロットが誤って進入してしまったとのこと。現在、当該航空会社と国との方で、詳細の原因調査と再発防止策を検討している段階である。

（新千歳空港事務所・北海道エアポート(株)回答）

●　カーボンニュートラルについて

Q　カーボンニュートラルの取組として、新千歳空港ではどのようなものを考えているのか。

A　国土交通省では、令和６年４月に新千歳空港脱炭素化推進計画を公表したところであり、具体的な取組としては、２０３０年までに旅客ターミナルビル、庁舎及び航空灯火等の照明をＬＥＤ化、空調設備等の高効率化等の省エネや太陽光発電による再生可能エネルギーの導入などを計画しており、２０３０年度までに２０１３年度比で４６％以上の削減を目指している。

（新千歳空港事務所回答）

A　空港に水素の設備機器を設置するという計画がある。また、太陽光設備を設置したり、空港によっては風力発電を活用している。

（北海道エアポート(株)回答）

●　遅延便について

Q　遅延便に関係して、羽田空港から新千歳空港へ飛行する際に遅延が多く発生しているような気がするが、何か情報はあるか。

A　各航空会社と意見交換をした中で、羽田空港から出る初便が遅れるケースが多いということを聞いている。初便になると、朝６時か７時となるため、交通機関や駐車場の状況により、搭乗客の到着が遅れるケースが多く苦慮している。

（新千歳空港事務所回答）

●　国際空港評価における受賞について

Q　新千歳空港が、最も改善された空港ということで新聞にも掲載されていたが、どういったものか。また、今後の展望は。

Ａ　イギリスのＳＫＹＴＲＡＸ社が実施している、２０２４年度国際空港評価「Ｗｏｒｌｄ　Ａｉｒｐｏｒｔ　Ａｗａｒｄｓ　２０２４」において、新千歳空港が「Ｗｏｒｌｄ‘ｓ　Ｍｏｓｔ　Ｉｍｐｒｏｖｅｄ　Ａｉｒｐｏｒｔ部門」で世界第１位を受賞した。この賞は、国際空港評価の全体にあたる品質向上を分析し、過去１２か月間で最も改善された空港に贈られる賞で、国内線、国際線の復便が進み空港に活気が戻っている中、空港サービス全体を総合的に評価していただいたものと認識している。今後も、より親しみのある空港づくりに邁進していく。

（北海道エアポート(株)回答）

≪国土交通省　航空局≫

●　遅延便について

Ｑ　令和５年度の遅延便が全体で７１７便と過去最高である。遅延便が多い航空会社には指導強化が必要と考えるが、国として遅延をどのように捉え、今後どのような対策を考えているか。

Ａ　令和５年度は過去と比べても、非常に高い数字ということは承知しており、引き続き、各航空会社に対して要請を続けていく。また、各航空会社においても、遅延便対策として、ダイヤパターンや機材繰りの変更といったことにも取組んでいると聞いている。

●　不発弾の爆発事故について

Ｑ　宮崎空港の誘導路での不発弾の爆発事故があった。事故の影響や、見解をお聞かせ願いたい。

Ａ　空港整備の際は、地表も含めて、試掘調査をした上で行うものだが、宮崎空港は７０年前ということなので、当時の経緯を確認する状況だと聞いている。不発弾の処理を綿密にやるには大規模なコストもかかるため、宮崎空港だけでなく、全国の空港においての対策が今後検討されていく。

●　滑走路建設や管制塔について

Ｑ　過密ダイヤが遅延便や事故を引き起こしやすいのではないか。今後のお考えは。

Ａ　過密ダイヤが遅延便や事故に直結しているといった考え方はないが、やはり天候の急激な悪化というのが一つの要因として挙げられる。また、羽田空港をハブとして、飛行機材の行き来があるため、順次影響が出ている。一番集中する便を、ダイヤ変更するなどの対策をしている。

●　低騒音機への切替促進について

Ｑ　低騒音機への切替を早急に進めていただきたい。

Ａ　低騒音機への切替促進というのは、非常に有効な対策であると認識しており、促進に向けた助成や支援等は引き続き実施していく。

● **飛行高度について**

Q　滑走路の延長を目一杯使って離陸すれば、高度も確保でき、騒音の影響力も少なくなると思うが、いかがか。

A　飛行高度の引き上げは、騒音の観点からみても有効な手段だと認識しており、引き続き取り組んでいく。また、飛行安全を確保する観点が重要であることから、今後も住宅の上空を飛行するといったことは出てくると思うので、何卒ご理解をいただきたい。

≪国土交通省　東京航空局≫

● **空港排水流出･遅延便等について**

Q　新設調整池での排水流出事案については、正直言ってがっかりした。また、航空機の移動中の接触事故や遅延便などの話を聞くと、こちらとしても要望を続けていかなくてはいかないとだめだと感じているが、見解は。

A　おっしゃる通り、排水流出の件は、初歩的なヒューマンエラーの類であり、二度と起きないように徹底していく。また、遅延便の関係は、やはり気象というものが、厳しくなってきているという状況もある。今後も皆様のご意見を真摯に受け止めて対応をしてまいりたい。

● **空港脱炭素について**

Q　脱炭素に向けて、太陽光パネルなどを設置すると、今まで浸透していた場所が浸透しなくなったり、調整池に悪影響を及ぼすような新たな問題点が起こらないのかと懸念をしているが。

A　脱炭素の取組については、周辺の環境や、皆様に影響を及ぼすことをできるだけ少なくなるように進めていく。

● **河川の水質検査について**

Q　美沢川及び美々川等への環境対策というところで、当該河川における水質検査の回数、測定するタイミングについて協議をさせていただきたい。

A　今後、タイミング等について協議させていただきたい。

● **新しい管制塔について**

Q　新しい管制塔の情報は。

A　現在の管制塔も結構な年季が入っており、管制のための新しい機器を入れると、高さも高くなる。場所については、C駐車場と貯設ピットの辺りになる予定。

≪防衛省　北海道防衛局≫

●　航空祭における騒音及びスクランブルについて

Q　今年の航空祭は出席できなかったが、昔は騒音がひどい時もあった。民航機は新千歳の方に移ったので、少し軽減されていますが、スクランブルについては、回数的にはかつてよりは少なくなる傾向にあるのか。

A　スクランブルは、周辺諸国の活動の状況に左右されてしまうため、夜間、土日に関わらず行うこととなる。今回の航空祭では、Ｆ－３５の飛来から、緊急発進のデモンストレーションまで行ったため、うるさかったと思う。今後もご理解お願いしたい。

●　住宅防音工事について

Q　自分の家は対象地域になり、防音工事をやってもらっているが、昨年の暮れに防音の復旧工事をお願いしたところ、いつになるかわからないという回答だった。
申請してから１年～２年のうちに工事をしていただけるような措置をとっていただきたい。

A　大変お待たせして申し訳ない。こちらも要求してから予算がついて初めてできますと言える状況である。ただ、我々も皆様の状況について、建ててから４０年だとは当然承知しているので、本省にも伝えていく。

Q　防音工事の際に、１名分の冷房機器しかつけられないということで、リビングにしかエアコンがない状況である。ここ数年、夜中も気温が上昇してきているため、寝室等にも設置できないものか。

A　昨今、温暖化の影響が北海道の方にもじわじわ来ていると理解している。今回の話については、本省にしっかり伝え、我々としても考えていきたい。

●　訓練時のYouTube配信について

Q　訓練の時に一般の方が訓練の状況を撮影し、ＹｏｕＴｕｂｅに流している動画がある。防衛局でも、将来的にできないものか。

A　今後の参考にさせていただく。

≪防衛省　航空自衛隊千歳基地　第2航空団≫

●　訓練回数の抑制について

Q　スクランブルや共同訓練などが最近多い。千歳飛行場が非常に利用されているのは分かるが、騒音が増えてきている。もう少し配慮ができないのかと思うがどうか。

A　共同訓練が増えているというのは、国の政策であり、千歳基地としても協力をしている。ただ、千歳基地だけがその訓練を受け入れているというわけではなく、分散しながら実施しているところであるので、ご理解をいただきたい。

● 騒音に関する配慮について

Q　自分の住んでいる上空からも、機体や高度により様々な騒音が聞こえる。たくさんの住居がある地域なので、より一層配慮いただきたい。

A　騒音が違うというのは、やはり気象の状況といったところで影響が大きいのかとは思う。やはり飛行の安全を優先しており、低い高度帯にどうしても降りざるを得ない時の運航に関しては、ご理解いただきたい。

● 部品落下に関する対策について

Q　発生件数をゼロにするために工夫していることがあるか。

A　飛行前には、必ず航空機の点検を実施しており、部品等に関して不安全な状態があれば、当然それを修理してから航空機を飛行させている。また、飛行後も機体の状況確認、整備員とパイロットが相互に点検等をしている。

資料５

令和６年度上半期　新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸について

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的地外着陸／引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
1	R6.4.16	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
2	R6.4.17	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
3	R6.4.17	国内	新千歳	函館	ANA4857		○		引き返し	目的地が悪天候のため
4	R6.4.20	国内	新千歳	中標津	ANA4881		○		引き返し	目的地が悪天候のため
5	R6.4.25	国内	新千歳	釧路	ANA4873		○		引き返し	目的地が悪天候のため
6	R6.4.26	国内	新千歳	稚内	ANA4841		○		引き返し	目的地が悪天候のため
7	R6.5.17	国内	新千歳	青森	JAL2805		○		引き返し	目的地が悪天候のため
8	R6.5.25	国内	新千歳	中標津	ANA4881		○		引き返し	目的地が悪天候のため
9	R6.5.26	国際	常州奔牛（中国）	アダック(アメリカ)	B8255			○	目的地外着陸	急患発生のため
10	R6.5.27	国内	新千歳	釧路	ANA4873		○		引き返し	目的地が悪天候のため
11	R6.6.9	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
12	R6.6.10	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
13	R6.6.20	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
14	R6.7.1	国内	羽田	旭川	ADO83			○	目的地外着陸	旭川空港で施設不具合のため
15	R6.7.6	国内	新千歳	中標津	ANA4881		○		引き返し	目的地が悪天候のため
16	R6.7.7	国内	新千歳	釧路	ANA4873		○		引き返し	目的地が悪天候のため
17	R6.7.7	国内	羽田	女満別	ADO79		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
18	R6.7.7	国内	羽田	女満別	JAL569		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的地外着陸／引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
19	R6.7.12	国際	アダック(アメリカ)	金浦（韓国）	N224KL			○	目的地外着陸	給油のため
20	R6.7.20	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
21	R6.7.27	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
22	R6.7.28	国際	仁川（韓国）	アンカレッジ（アメリカ）	GTI8193			○	目的地外着陸	操縦席内で異臭のため機体点検
23	R6.7.29	国内	新千歳	釧路	ANA4875	○			引き返し	オートパイロット機能にエラー発生のため
24	R6.8.4	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
25	R6.8.7	国内	新千歳	釧路	ANA4873		○		引き返し	目的地が悪天候のため
26	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	ANA76		○		引き返し	目的地が悪天候のため
27	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	ADO36		○		引き返し	目的地が悪天候のため
28	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	SKY730		○		引き返し	目的地が悪天候のため
29	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	ADO44		○		引き返し	目的地が悪天候のため
30	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	ANA78		○		引き返し	目的地が悪天候のため
31	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	ANA82		○		引き返し	目的地が悪天候のため
32	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	ADO140		○		引き返し	目的地が悪天候のため
33	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	ANA988		○		引き返し	目的地が悪天候のため
34	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	JAL530		○		引き返し	目的地が悪天候のため
35	R6.8.7	国内	新千歳	羽田	JAL528		○		引き返し	目的地が悪天候のため
36	R6.8.9	国内	新千歳	利尻	ANA4929		○		引き返し	目的地が悪天候のため
37	R6.8.13	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的地外着陸／引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
38	R6.8.14	国内	羽田	函館	ADO59	○			目的地外着陸	排気管の不具合ランプが点灯のため
39	R6.8.30	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
40	R6.9.2	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	目的地が悪天候のため
41	R6.9.5	国際	ニューアーク・リバティ（アメリカ）	成田	UAL79 /UAL3024	○			目的地外着陸	主翼部分の不具合により燃料不足となる可能性があったため
42	R6.9.18	国内	新千歳	関空	ANA1710	○			引き返し	カーゴドアエラーランプ点灯のため
43	R6.9.29	国際	羽田	J.F.ケネディ（アメリカ）	JAL6			○	目的地外着陸	急患発生のため
合計			**国内　引き返し　34件（機材不具合2、天候32、その他0）目的地外着陸4件（機材不具合1、天候2、その他1）**							
			国際　引き返し　0件（機材不具合0、天候　0、その他0）目的地外着陸5件（機材不具合1、天候0、その他4）							

北海道エアポート株式会社調べ

資料６

令和６年度　再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）

（単位：千円）

事業名		総事業費	交付金				
			①当初額 R6年4月	②変更後 R6年11月	②－① 増減	現額	
植苗・美沢地区	植苗ファミリー公園整備事業	4,873	4,700	4,700	0	4,700	
	植苗小中学校環境整備事業	5,230	4,900	4,900	0	4,900	
	植苗地区テレビ光ケーブル化事業（実施調査・設計）	6,919	11,000	6,900	-4,100	6,900	
						0	
	小　　計	17,022	20,600	16,500	-4,100	16,500	16.0%
沼ノ端地区	勇の原公園整備事業	55,957	43,500	43,500	0	43,500	
	（仮称）沼ノ端南14号公園整備事業	25,630	23,000	23,000	0	23,000	
					0	0	
	小　　計	81,587	66,500	66,500	0	66,500	64.5%
勇払地区	勇払小中学校環境整備事業	1,650	1,600	1,600	0	1,600	
	勇払総合福祉会館備品整備事業	1,031	1,300	970	-330	970	
	勇武津資料館備品整備事業	4,140	4,000	4,000	0	4,000	
	勇払公民館屋上避難実施設計業務	3,470		3,100	3,100	3,100	
	小　　計	10,291	6,900	9,670	2,770	9,670	9.4%
三地区共通							
	小　　計	0	0	0	0	0	0.0%
共通	保健センター等医療機器整備事業（最終調整弁）	10,376	9,000	10,376	1,376	10,376	
	小　　計	10,376	9,000	10,376	1,376	10,376	10.1%
合　　計		119,276	103,000	103,046	46	103,046	

再編関連訓練移転等交付金　　103,046千円（確定）

令和７年度　再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）

（単位：千円）

	事業名	交付金	
植苗・美沢地区	植苗地区テレビ光ケーブル化事業（工事）	56,000	
	小計	56,000	45.5%
沼ノ端地区	勇の原公園整備事業	43,000	
	沼ノ端地区消火栓整備事業	8,000	
	小計	51,000	41.5%
勇払地区	勇払公民館屋上避難施設整備事業	16,000	
	小計	16,000	13.0%
三地区含む共通			
	小計	0	0.0%
共通	保健センター等医療機器整備事業（最終調整弁）	0	
	小計	0	0.0%
合計		123,000	

再編関連訓練移転等交付金　123,000千円（見込み）